交配相談サービス実施農家レポート

【江別市：酪農学園大学附属農場】


酪農学園大学の風景

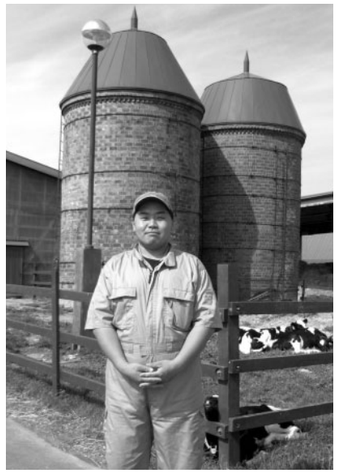
2009年より開始されたジェネティクス北海道の交配相談サービスは、戸々の牛群の改良目標に沿った種雄牛が3頭推奨されることが特徴です。

今回ご紹介する酪農学園大学附属農場では、近交係数の上昇を抑制し、改良目標に沿った牛づくりを目指すために、昨年より本サービスを活用して頂いています。

附属農場は、札幌市の東に位置する江別市にあり、「本学の実学教育のシンボル的な存在で、学園キャンパスの前庭的なロケーションで牧歌的な美しい景観をみせ、面積638,557㎡の農地に牧草地などの圃場と二つの牛舎を擁し、高泌乳牛の飼養管理技術の改善と乳牛改良を重点課題とし、酪農の教育実習と経営研究の両面を担いながら、専従スタッフにより本格的に運営しています。」

（酪農学園大学附属農場HPより抜粋）

http://www.rakuno.ac.jp/ dep10/


川岸主任技師

交配相談を利用した感想と今後の牛群改良の方向性について、授精を担当している川岸主任技師にお話を伺いましたので紹介します。

① 酪農学園大学附属農場の概況について教えて下さい。

飼養頭数は、未経産牛が65頭で経産牛が85頭の計150頭です。フリーストール牛舎は初産牛を中心とする牛群で、ロボット搾乳牛舎は2産以上で乳頭の配置と乳房底面の高さがロボット搾乳に適応した個体で牛群を構成しています。産乳成績はフリーストール牛舎の牛群で9,500kg、ロボット搾乳牛舎で12,500kgを記録し乳牛検定組合より表彰を受けました。繁殖成績は、平均産次数が2.9産で、平均授精回数は2.1回です。

② ジェネティクス北海道の交配相談サービスをどのようにして知りましたか？

道央広域事業所の担当者からの紹介で交配相談サービスを知りました。交配相談サービスを知るまでは、北海道ホルスタイン農業協同組合が配布している近交回避プログラムを活用して、近交係数の急上昇を抑制する種雄牛を選択していました。


フリーストール牛舎

③ 交配相談を利用してどんな感想を持ちましたか？

【酪農学園大学附属農場では、改良形質を第1形質が乳器、第2形質が肢蹄で設定し、農場独自の選定種雄牛の中から推奨種雄牛を抽出しています。】

1頭の雌牛に対して3頭の種雄牛が推奨される点が良いと思います。今まで活用していた近交回避プログラムは、近交係数の急上昇を抑制する種雄牛が全て表示されました。ジェネティクス北海道の交配相談は、近交係数の急上昇を抑制し、さらに、改良目標に沿った種雄牛が3頭推奨されます。

その他に、推奨された種雄牛を雌牛に交配した場合に産まれてくる娘牛が、どの程度母牛よりも改良されるかを、第1、第2形質の両親平均(PA)で知ることが出来ます。交配相談の結果を授精に利用する場合、結果表に表示される産子の両親平均(PA)と近交係数を参考にして、授精に供用する種雄牛を第1から第3の推奨種雄牛の中から選択しています。交配相談の結果表に推奨種雄牛、両親平均(PA)や近交係数が表示されるから出来る利用法だと思います。

④ 今後の牛群の改良の方向性について教えて下さい。

優れた乳器と肢蹄を持つ牛群に改良していきたいと考えています。特に、乳器はロボット搾乳に適応するように、最適な乳頭の配置と乳房底面の高さを重視していきたいです。また、飼養されている乳牛が実習等で利用される際に学生が扱い易く事故が起きないように、体のサイズが大きすぎず気質が温順な牛群にしていきたいと考えています。

⑤ 交配相談サービスについて一言

1つ目は、交配相談を利用する前と後でどれくらい牛群が改良されているかを知りたいです。2つ目は、国内の種雄牛と雌牛の遺伝評価値の公表の時期に合わせて交配相談の結果表を出してほしいです。

『了解いたしました！』

今回取材した酪農学園大学附属農場では、学生の実習等で利用されるため、体のサイズと気質を重視し、ロボット搾乳に合う飼いやすい牛づくりを心掛けていました。川岸主任技師によれば、農場では毎日違う人が入れ替わり立ち替わり搾乳をしていますが、それにも関わらず、体細胞数は10万以下が続いています。これは、日頃の農場職員の徹底した飼養管理の賜物だと思います。また、授精の際は交配相談の結果だけでなく、学生の意見も取り入れて種雄牛を選択していますと教えてくれました。

お忙しい中、今回の取材にご協力頂いた酪農学園大学附属農場の川岸主任技師に、深謝いたします。本団の交配相談サービスはまだまだ始まったばかりです。今回頂きました貴重なご意見とご感想を生かし、より良い交配相談サービスを提供していきたいと考えています。御協力ありがとうございました。

（ 改良情報課 大林 敏朗 ）

北海道限定

ジェネティクス北海道交配相談サービス

●未来の牛群設計ができる
●ニーズに合わせた種雄牛を選択できる
●近交計数がコントロールできる

▶▶詳しくはお近くの事業所、または改良部までご連絡ください。



優秀雌牛顕彰制度がスタートしました 第3報

『SIRE5月号』でご紹介したとおり、本団の国内後代検定済種雄牛並びに娘牛に対する表彰規定が一部改正されました。今回の改正で『本団種雄牛の娘牛で生涯乳量5万キロ以上かつ体型得点85点以上』の検定牛が表彰対象となりました。

交配相談サービスを活用して頂いてる富良野市操上牧場の隆明さんからの一言と表彰牛を紹介いたします。

操上隆明さん

『稼ぐ牛をありがとうございました。今後も期待しております』

表彰牛 ①：フレツシユ　レミユー
決定得点 85点 6産 生涯乳量 72,481kg
（父:フエルダー　デンバーブ　シンダー　ET）
表彰牛 ②：フレツシユ　フアイター　デル
決定得点 86点 5産 生涯乳量 66,643kg
（父:レーガンクレスト　プレリユード　ET）
表彰牛 ③：フレツシユ　ミドル
決定得点 87点 5産 生涯乳量 60,425kg
（父:レーガンクレスト　プレリユード　ET）



